

第 6 2 回「電波の日」総務大臣表彰

1 個人：3 件

(敬称略：五十音順)

氏 名	功績の概要
はっとり たけし 服部 武 上智大学理工学部 客員教授	多年にわたり、携帯電話などの技術的条件の策定に寄与するとともに、情報通信審議会委員として、我が国の電波利用に関する重要課題の検討において公平かつ的確な判断と有益な助言を行い電波行政の発展に多大な貢献をした。
ひろせ みちさだ 広瀬 道貞 前 社団法人日本民間放送連盟 会長	社団法人日本民間放送連盟会長を 3 期 6 年務め、放送を取り巻く環境の変化への対応や放送倫理の向上に尽力し、放送事業の質的向上や公共の福祉の増進に寄与した。 特に、テレビジョン放送のデジタル化に当たって、民間放送事業者の先頭に立って指導力を発揮し、全国における完全デジタル化の円滑な実現に多大な貢献をした。
みとも ひとし 三友 仁志 早稲田大学国際学術院 アジア太平洋研究科 教授	「周波数オークションに関する懇談会」の座長をはじめ、多年にわたり電波利用分野の検討会などの構成員を歴任し、我が国の電波利用に関する重要課題の検討において公平かつ的確な判断と有益な助言を行い、電波行政の発展に多大な貢献をした。

2 団体：3 件

(敬称略：五十音順)

団体名	功績の概要
かまいしぎよぎょうようかいがんきょく 釜石 漁業用 海岸局 (局長 あずまや つたえ 東谷 傳)	東日本大震災において、沖合に避難した船舶局に災害情報の伝達を行うとともに、陸上の通信回線が不通の中、他県の海岸局や船舶局などを中継し、岩手県庁へ釜石地区の被害状況、安否情報の伝達及び救急車・ヘリコプターの手配要請を行うなど、非常通信を効果的に取り扱い、船舶や地域住民の安全確保に多大な貢献をした。
いっばんしやだんほうじん でん ばんざんぎょうかい 一般社団法人 電波産業会 あいえずでいびていかいがいふきゅうはけんしゃ ぐ ら ー ぶ ISDB-T 海外普及派遣者グループ (代表 さかぐち やすじ 阪口 安司)	地上デジタルテレビ放送日本方式 (ISDB-T) の採用国に専門家として赴き、現地の政府機関や放送局に対して地上デジタルテレビ放送の開始に必要な技術支援を行うとともに、我が国企業の参入機会の拡大に積極的に寄与するなど多大な貢献をした。
ういんずりようじっけんじっしきょうぎかい WINDS 利用実験実施協議会 (会長 にしはら あきのり 西原 明法)	超高速インターネット衛星「きずな」の利用実験に取り組み、デジタル・ディバイド解消や災害時における通信の確保などに必要なギガビット級のブロードバンド衛星通信の実現に資する多くの技術的成果を達成し、我が国の衛星通信の発展に多大な貢献をした。